

■技術シーズ発表機関一覧

第1グループ	【産】アイレス電子工業株式会社	①“見える化支援”(見えない現在値を見える化してDX推進)
	【学】和歌山工業高等専門学校	②堆積物微生物燃料電池による環境浄化
	【学】和歌山県立医科大学	③血中脂肪調節メカニズムの解明に伴う新しい高脂血症診断技術
第2グループ	【官】和歌山県工業技術センター	④ヒバ油高含有樹脂の開発
	【学】国立大学法人和歌山大学	⑤イノベーションイニシアティブ基幹のご紹介
	【産】中野BC株式会社	⑥和歌山県の特産物「山椒」の新たな機能性について
	【官】和歌山県工業技術センター	⑦柿のヘタを有効活用するための品質評価
	【産】エコ和歌山株式会社	⑧産業排水処理における余剰汚泥の削減
第3グループ	【学】近畿大学生物理工学部	⑨林業・木材産業の変遷と地域の形成過程
	【産】林燃系株式会社	⑩生体センシング向け導電性素材の燃糸開発
	【官】和歌山県果樹試験場	⑪傾斜地果樹園における農作業省力化
	【学】和歌山工業高等専門学校	⑫構造用接着技術・CFRP/アルミニウム接着継手の疲労強度に関する研究
	【学】近畿大学生物理工学部	⑬生物の身体構造を模倣したロボット
	【学】和歌山県立医科大学	⑭The Wakayama Spine Studyについて
	【産】太洋工業株式会社	⑮高密度配線のためのMSAP工法について
【学】国立大学法人和歌山大学	⑯DX推進に適したシステムアーキテクチャ設計	

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
2F 中・西	受付	開会挨拶	開会挨拶	基調講演 13:05~13:55	休憩・名刺交換	シーズ発表会 グループ1 14:20~15:04	休憩・名刺交換	シーズ発表会 グループ2 15:15~15:59
				休憩・名刺交換	シーズ発表会 グループ3 16:10~17:03	休憩・名刺交換	閉会挨拶	
シーズポスター掲示								
2F 東	第31回 WAKASAインテクメッセ (同時開催) (10:00~16:00)							

●お申込み・お問い合わせ



公益財団法人わかやま産業振興財団
テクノ振興部 テクノ振興班 三田
和歌山市本町二丁目1番地
フォルテワジマ6階
TEL 073-432-5122
FAX 073-432-3314
E-mail: tk7@yarukiouendan.jp



参加申込方法 (①・②・③のいずれかの方法でお申込みください)

- ①右記の2次元バーコードから
2次元コードを読み取り、申込フォームからお申込みください。
- ②mail: tk7@yarukiouendan.jpから
同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、メールにてお申込みください。
- ③FAX: 073-432-3314から
同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。



**WAKASA
インテクメッセ**
10:00~16:00
同時開催

主催 公益財団法人わかやま産業振興財団 / 和歌山県 / 一般社団法人和歌山情報サービス産業協会
後援 国立大学法人和歌山大学 / 近畿大学生物理工学部 / 独立行政法人国立高等専門学校機構 和歌山工業高等専門学校 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所

— 次世代技術・新ビジネスの情報収集に! —

第32回 わかやま テクノ・ビジネスフェア

参加無料

2023年 **11月29日** 水 13:00~17:30
アバローム紀の国 2F 和歌山市湊通丁北2-1-2
申込締切 / 令和5年11月22日

基調講演

13:05~13:55

企業の未来をつくるには常識を打ち破れ!

新たな企業価値創造へのヒント~社外智をいかに取り込むか~

国立大学法人東京工業大学名誉教授 **田辺 孝二 氏**



1975年 京都大学理学部卒業
2003年 東京工業大学大学院博士後期課程修了 博士(学術)
経済産業省中国経産局長、同調査統計部長、東京工業大学大学院イノベーション
マネジメント研究科教授を経て、東京工業大学名誉教授、広島大学客員教授。
専門は、イノベーション戦略、産官学連携、未来創造思考。
社会と自分の未来を創造する未来創造思考を提唱している。

GXや人口減少など経済社会が大きな転換期を迎える今、従来の延長線上でビジネスを続けることが困難な状況になる中で、変化を大きなチャンスと捉え、自社の事業・顧客価値の革新・再構築を図ることが企業の未来を創ることになります。

そのためには、世の中の問題に対応した新しい価値を創造するイノベーションが不可欠です。その実行には「技術経営」や「産官学連携」の外部智が重要な役割を果たします。しかし、技術シーズから発想する高度専門化は、新しい価値の創造につながらないことも多くあります。外部智を活かすためには、「求められるもの」「求めるべきもの」を目指す自己変革が必要です。

ご講演では、事業再構築の事例を基に、「常識を打破し、いかに外部智を活用するのか、大学等との連携をいかに行うのか」をお話しいたします。

また、常識を打ち破って未来創造に挑戦するための思考法である「未来創造思考」についてもお話しいたします。

技術シーズ発表会

14:20~17:30

新ビジネス創出を目的に、シーズ発表する県内大学・研究機関・企業と来場企業のマッチングを図ります。

グループ1 発表概要 14:20~15:04

1 利用用途 生産現場の設備稼働・現場在庫・温度変化等の見える化 14:20~14:28 “見える化支援”(見えない現在値を見る化してDX推進) アイレス電子工業株式会社 事業本部 諏訪 剛氏

2 利用用途 底質改善技術・富栄養化対策 14:29~14:37 堆積物微生物燃料電池による環境浄化 独立行政法人国立高等専門学校機構和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科・講師 竹村 泰幸氏

3 利用用途 医療診断 14:38~14:46 血中脂肪調節メカニズムの解明に伴う新しい高脂血症診断技術 和歌山県立医科大学 医学部解剖学第一講座 金井 克光氏

4 利用用途 新規樹脂材料開発 14:47~14:55 ヒバ油高含有樹脂の開発 和歌山県工業技術センター 地域資源活用部 主任研究員 宮崎 崇氏

5 利用用途 産学連携・起業家精神・イノベーション 14:56~15:04 イノベーションイニシアティブ基幹のご紹介 国立大学法人和歌山大学 産学連携イノベーションセンター 副センター長 似内 映之氏

15:05~15:15 休憩・名刺交換【10分間】

グループ2 発表概要 15:15~15:59

6 利用用途 食品加工・用途開発 15:15~15:23 和歌山県の特産物「山椒」の新たな機能性について 中野BC株式会社 食品科学研究所 児玉 圭佑氏

7 利用用途 地域資源活用 15:24~15:32 柿のヘタを有効活用するための品質評価 和歌山県工業技術センター 産業振興部 専門技術員 石原 理恵氏

8 利用用途 環境技術(産業排水処理施設) 15:33~15:41 産業排水処理における余剰汚泥の削減 エコ和歌山株式会社 施設管理部長 玉田 卓氏

9 利用用途 地域振興・地域計画・木材利用推進 15:42~15:50 林業・木材産業の変遷と地域の形成過程 近畿大学 生物理工学部 人間環境デザイン工学科 建築・地域計画研究室 林 和典氏

10 利用用途 新規素材開発 15:51~15:59 生体センシング向け導電性素材の燃糸開発 林燃糸株式会社 代表取締役 林 雄太氏

16:00~16:10 休憩・名刺交換【10分間】

グループ3 発表概要 16:10~17:03

11 利用用途 農作業省力化技術 16:10~16:18 傾斜地果樹園における農作業省力化 和歌山県果樹試験場 衛藤 夏葉氏

12 利用用途 軽量構造接合 16:19~16:27 構造用接着技術・CFRP/アルミニウム接着継手の疲労強度に関する研究 独立行政法人国立高等専門学校機構和歌山工業高等専門学校 知能機械工学科・講師 原 圭介氏

13 利用用途 生物の理解・高性能ロボットの達成・ロボット工学の未達成問題の解決 16:28~16:36 生物の身体構造を模倣したロボット 近畿大学 生物理工学部 人間環境デザイン工学科身体・知能ロボティクス研究室 池田 昌弘氏

14 利用用途 運動器疾患リスクのAI診断システムの開発、フレイル予防のための健康アプリの開発 16:37~16:45 The Wakayama Spine Studyについて 和歌山県立医科大学 保健看護学部 橋爪 洋氏

15 利用用途 医療機器・高速通信機器 16:46~16:54 高密度配線のためのMSAP工法について 太洋工業株式会社 電子デバイス部 堤 江里氏

16 利用用途 社内DX推進・システムコンサルティング 16:55~17:03 DX推進に適したシステムアーキテクチャ設計 国立大学法人和歌山大学 戦略情報室 室長/教授 満田 成紀氏

17:04~17:30 休憩・名刺交換【26分間】